

ANNUAL REPORT 2024

このまちが、すべて。
このまちに、すべて。



令和6年5月13日「博多支店」新規開設



あなたと共に、ハーモニー・バンク
福岡ひびき信用金庫

当金庫の概要

(令和6年3月31日現在)

設 立	大正13年1月
本店所在地	北九州市八幡東区尾倉2-8-1
出 資 金	34億30百万円
会 員 数	72,322人
役 職 員 数	530人
店 舗 数	41店舗 (代理店1店舗を含む)
営 業 区 域	福岡県一円 山口県下関市 大分県中津市



企業理念

1. 中小企業の健全な発展
2. 豊かな国民生活の実現
3. 地域社会繁栄への奉仕

経営理念

1. お客様と真摯に向き合い、期待を超える。
2. まちの元気をつくり、未来を照らす。
3. 金庫の発展と、職員一人ひとりの幸せを実現する。



CONTENTS

ごあいさつ	1	商品等のご案内・手数料一覧	18
業績トピックス	2	店舗のご案内	23
地域社会とひびしん	4	マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の管理態勢	25
沿革	5	リスク管理の体制	27
役員・組織図	6	法令遵守(コンプライアンス)の体制	29
ひびしんインフォメーション	7	金融ADR制度への対応・主要な事業の種類	30
サステナビリティへの取組み	9	信金中央金庫のご紹介	31
中小企業の経営支援に関する取組み	10	開示項目一覧・当金庫のディスクロージャー誌 (資料編)の閲覧に係るご案内	33
地域活性化に対する取組み	14		
総代会等に関する事項	16		

ごあいさつ



理事長
井 倉 眞

平素より福岡ひびき信用金庫をお引立て頂き、心より厚く御礼申し上げます。

本年も、ディスクロージャー誌「ANNUAL REPORT 2024 業務のご案内」を作成致しました。弊金庫の経営方針や業務の内容、業績などをご紹介致しておりますので、ご高覧頂き、弊金庫へのご理解を一層深めて頂ければ幸甚に存じます。

令和5年度の日本経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類感染症」へ移行したことで行動制限が撤廃され、経済活動の正常化が進んだ1年となりました。国内消費のみならず、日本国内への入国制限などの規制が解除されることによって人流が回復し、現在もインバウンド消費が国内経済を活性化させています。また、春闘では賃上げ率がバブル期以来の高い伸び率となったほか、日経平均株価は史上最高値を更新、さらには日本銀行がマイナス金利を解除するなど、わが国の経済が「失われた30年」の停滞から脱却し、再び発展することを予感させるものとなりました。

一方、ウクライナ情勢の長期化や中東における新たな軍事衝突に加え、欧米でのインフレ抑制による金融政策引き締めの影響などから、為替相場の円安が進行することで輸入製品を中心に物価が上昇し、企業経営及び家計を圧迫させています。

このような金融経済環境を背景に、令和5年度は中期経営計画の最終年度として、当初掲げた“地域に暮らす人々の心と生活（暮らし）を豊かにする”というミッション実現のため、地元中小企業に寄り添い、より一層踏み込んだ伴走型支援に注力して参りました。

その結果、令和5年度の弊金庫の業績は経常収益18,571百万円（対前期比22.7%増）、経常費用16,756百万円（対前期比29.6%増）、経常利益1,815百万円（対前期比17.5%減）、当期純利益1,273百万円（対前期比38.5%減）となりました。

また、期末の自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る10.69%、不良債権比率は2.84%となりました。

今後も、健全経営、経営基盤の一層の強化、地域社会の繁栄のため役職員一同専心して努めてまいります。今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月27日

理事長 井 倉 眞

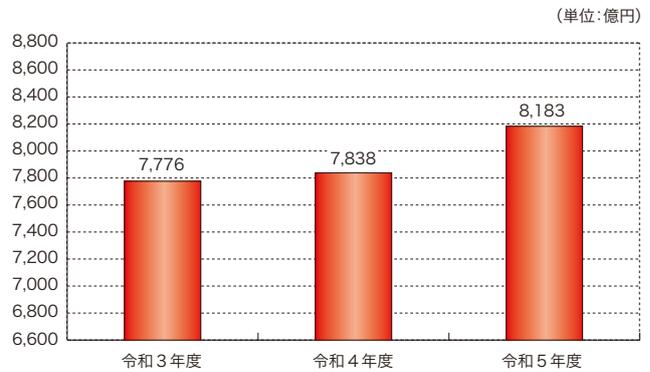
預金積金の推移

令和5年度は、夏期キャンペーンとして、懸賞付定期預金「ひびきing」を、また100周年キャンペーン定期預金として「サンクフルⅡ」を上期に、「サンクフルⅢ」を下期に販売したことで、上期、下期共に150億円ずつ獲得しました。その結果、定期預金残高は前期比121億円の増加となりました。

また、要求性預金残高は経済活動再開の動きに合わせ、サービス消費の回復傾向が続いていることや、物価の上昇が加速した影響などから、前期比231億円の増加となりました。

この結果、預金残高は、前期比344億円増加し8,183億円となりました。

預金積金残高 **8,183億円**



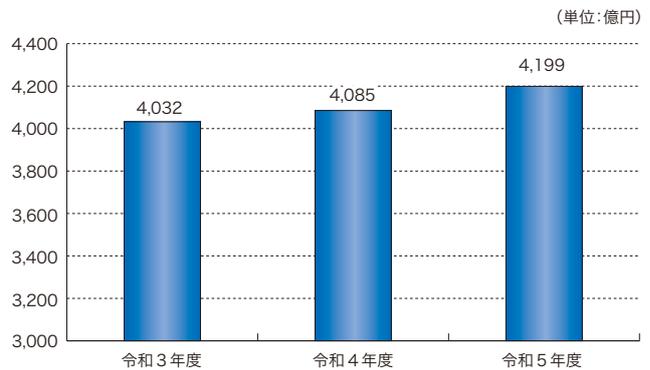
貸出金の推移

令和5年度の事業性融資は、手形貸付が13億円減少しましたが、新規の取引先の拡大などにより証書貸付が69億円増加するなど、前期比70億円の増加となりました。

また、個人向け融資につきましては、100周年ローンキャンペーン実施などから、消費者ローンが23億円、住宅ローンが19億円増加したため、前期比43億円の増加となりました。

この結果、貸出金残高は、前期比113億円増加の4,199億円となりました。

貸出金残高 **4,199億円**



業務純益*1/コア業務純益*2の推移

貸出金利息収入や有価証券利息配当金の増加等により、令和5年度の業務純益は55億2千7百万円となりました。

また、業務純益から一般貸倒引当金繰入額や国債等債券関係損益を除いたコア業務純益は、前期比32億8千万円増加し、72億9百万円となりました。

業務純益 **55億27百万円**

コア業務純益 **72億9百万円**



*1 業務純益・・・貸出金や有価証券等の受入利息や手数料などの収入から、預金等の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。

*2 コア業務純益・・・業務純益から、一般貸倒引当金および国債等債券関係損益を除いたものです。

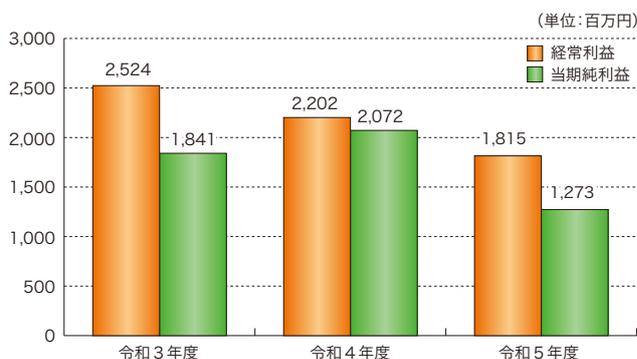
経常利益/当期純利益の推移

株式等売却損等の臨時費用が前期に比べて増加したため、令和5年度の経常利益は前期比3億8千7百万円減少し、18億1千5百万円となりました。

その結果、当期純利益は、前期比7億9千9百万円減少し12億7千3百万円となりました。

経常利益 18億15百万円

当期純利益 12億73百万円



単体自己資本比率

令和5年度の単体自己資本比率は、10.69%となりました。

国内基準（4%）を大幅に上回る高い水準を維持しております。

※平成25年度末より、自己資本比率規制に関する金融庁告示第19号の一部改正に伴い、パーゼルIII基準により自己資本比率を算出しております。

自己資本比率 10.69%



不良債権比率

令和5年度の金融再生法に基づく不良債権額は、119億8千9百万円となりました。

この結果、不良債権比率は対前期比で0.05%改善し、2.84%となりました。

当金庫は、法令等に基づき厳格な償却・引当を行っております。引き続き、健全な資産の維持に努めてまいります。

不良債権比率 2.84%



当金庫は、福岡県一円と山口県下関市、大分県中津市を事業区域として、地元の中小企業や住民の皆さまが会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元の皆さまからお預りした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民の皆さまとの強いネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、企業としての社会的責任（CSR）を自覚し、文化・環境・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



令和6年3月31日現在

沿革

大正13年	1月	有限責任信用組合八幡庶民金庫を設立
昭和18年	10月	有限責任信用組合八幡庶民金庫と有限責任八幡信用組合が合併し「有限責任八幡庶民信用組合」が誕生
昭和25年	4月	中小企業等協同組合法の施行に伴い信用協同組合に改組
昭和26年	10月	信用金庫法制定に伴い改組改称し「八幡市信用金庫」として発足
昭和38年	6月	北九州市発足により「北九州八幡信用金庫」と改称
昭和48年	1月	「八信同友会」(現・ひびしん同友会)発足
昭和60年	10月	「はっしん経営大学」(現・福岡ひびき経営大学)第1期講座開講
平成 2年	4月	「八信ニューリーダー会」(現・ひびしんニューリーダー会)発足
平成 6年	1月	「はっしん経営者賞」(現・福岡ひびき経営者賞)創設
平成13年	4月	「イングスクラブ」設立
	11月	北九州八幡信用金庫と若松信用金庫が合併し「福岡ひびき信用金庫」が誕生 (理事長 古川育史 就任)
平成14年	9月	福岡ひびき信用金庫と直方信用金庫との二金庫間で合併基本協定書調印
	11月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫の5金庫間で、合併基本協定書調印
平成15年	6月	高須支店新装オープン
	10月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫が合併し、新生「福岡ひびき信用金庫」が誕生
平成16年	11月	荒生田支店新装オープン
平成17年	1月	小倉支店移転オープン
	2月	室町支店他2店舗を統合
	10月	三六支店他3店舗を統合
平成18年	1月	浜町支店他2店舗を統合
	4月	大里支店移転オープン
	6月	役員改選により 会長 古川育史 理事長 谷石喜一 就任
	10月	近衛橋支店他5店舗を統合
平成19年	2月	福岡支店新規開設
	10月	昭和町支店他2店舗を統合
平成20年	4月	門司港支店新装オープン
	5月	豊前支店新装オープン
	10月	本城東支店他1店舗を統合
平成21年	2月	「ひびしんビジネスフェア」初開催
	10月	総代改選し150名体制へ(新総代53名誕生) ひびしんニューリーダー会発足20周年記念大会開催
		木町支店他2店舗を統合
	12月	行橋支店新装オープン
平成22年	2月	「ひびしん女性創業塾」初年度開講
平成23年	2月	曾根支店新装オープン
	12月	預・貸金総和1兆円達成
平成24年	5月	町上津役支店新装オープン
	6月	理事長 野村廣美 就任
	10月	守恒出張所新規開設
	11月	ひびしん同友会発足40周年記念式典開催
平成25年	6月	古川育史会長退任
	10月	5金庫合併10周年記念「飛鳥IIクルーズ」実施 当金庫及び大分みらい信金、西中国信金による「大規模災害発生時の相互支援に関する覚書」を締結
平成26年	2月	創立90周年・5金庫合併10周年記念式典開催
	4月	葛原湯川支店を統合
	4月	大蔵支店を代理店へ移行
	5月	福岡ひびき経営者賞20周年記念式典開催
	6月	千早支店新規開設
平成27年	12月	折尾支店新装オープン
	3月	東二島支店新装オープン
	6月	宮丸支店を統合
	9月	宇野支店を統合
平成28年	9月	ベイサイドプラザ若松閉店
平成30年	1月	椎田支店・築城支店を統合し、築上町支店新装オープン
	5月	当金庫と磐田信用金庫の二金庫間で業務連携協定を締結
	8月	守恒出張所閉店
平成31年	4月	九州16金庫「飛鳥IIしんぎんりレークルーズ」開催
令和 1年	7月	黒原支店を移転し、城野支店として新装オープン
	9月	前田支店を統合
	10月	中央町支店、小石支店、原町支店をサテライト店舗へ移行 大蔵代理店、中央町支店、小石支店、天籟寺支店、原町支店の5店舗において「昼休み」時間を導入
令和 2年	6月	役員改選により 会長 野村廣美 理事長 井倉眞 就任
令和 3年	2月	則松支店、中原支店、頓野支店をサテライト店舗へ移行し、「昼休み」時間を導入
	5月	中間支店新装オープン
	6月	若宮支店において「昼休み」時間を導入
	10月	原町支店を統合
	11月	二島支店新装オープン
令和 4年	3月	北方支店を移転し、守恒支店として新装オープン
	5月	18店舗において、「昼休み」時間を導入
	11月	苅田支店新装オープン
令和 5年	2月	天籟寺支店を統合
	5月	5店舗において、「昼休み」時間を導入
	10月	中央町支店、則松支店を統合
	11月	創立100周年記念式典・記念祝賀会開催
令和 6年	5月	5店舗において、「昼休み」時間を導入
	6月	博多支店新規開設 野村廣美会長退任



令和6年5月13日 博多支店新規開設

役員

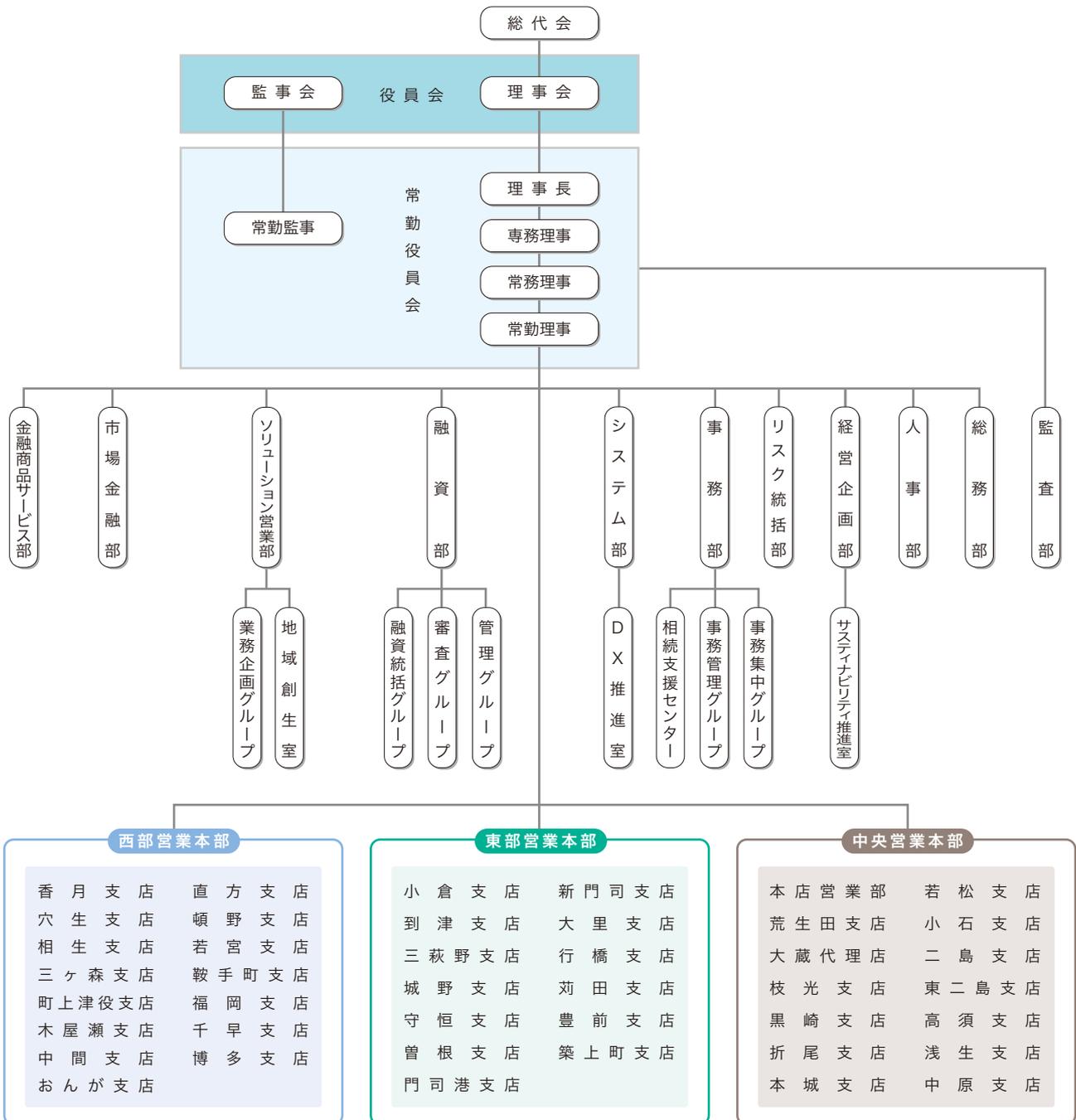
理事長 …………… 井 倉 眞
 専務理事 …………… 一 江 哲 哉
 専務理事 …………… 黒 木 清 輝
 常務理事 …………… 吉 田 昌 弘
 常務理事 …………… 江 崎 鶴 彦
 常勤理事 …………… 森 重 隆
 常勤理事 …………… 林 間 勝 利
 常勤理事 …………… 入 江 清 吾

非常勤理事 …………… 垣 迫 裕 俊 (注1)
 非常勤理事 …………… 井 上 龍 子 (注1)
 常勤監事 …………… 宮 城 和 男
 非常勤監事 …………… 鈴 木 雅 子 (注2)
 非常勤監事 …………… 東 能 利 生 (注2)

(注1) 理事 垣迫 裕俊、井上 龍子は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

(注2) 監事 鈴木 雅子、東 能利生は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

組織図



※第73回通常総代会（令和6年6月26日）終了後の役員及び組織図を掲載しております。

当金庫イメージキャラクターに「ハンギョドン」が就任

令和6年4月1日に株式会社サンリオの「ハンギョドン」が当金庫のイメージキャラクターに就任しました。サンリオキャラクターを採用している信用金庫は当金庫が九州唯一になります。

ハンギョドンは「2024サンリオキャラクター大賞」にて総キャラクター数90キャラの中から第8位に輝き、デビューから間もなく40年となる今もなお、幅広い層から愛されているキャラクターです。

マリンシャツを着用しているハンギョドンは福岡ひびき信用金庫でしか出会えないオリジナルデザインです。

今後はハンギョドンとともに、当金庫の魅力を発信し、引き続き地域のお客様へ心のこもったサービスや商品の提供を目指して、より一層邁進してまいります。



博多支店 新規開設

福岡市内における3店舗目として、令和6年5月13日に博多支店を新規開設しました！

令和6年4月より採用した当金庫イメージキャラクター「ハンギョドン」を入口自動扉などにラッピングした誰にでも親しみの持てる外観となっております。

これからも地域に根差した金融機関として、皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、何卒末永くご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



創立100周年記念式典及び記念祝賀会

記念式典

当金庫は、令和6年1月15日に創立100周年の佳節を迎えることを記念いたしまして、創立100周年記念式典及び記念祝賀会を令和5年11月25日に開催いたしました。記念式典では、当金庫理事長挨拶、財務省福岡財務支局長、日本銀行北九州支店長、全国信用金庫協会長からの祝辞のほか、当金庫ヒストリア上映、ひびしん同友会からの目録贈呈などがあり、来賓・取引先など約420名が出席いたしました。



井倉理事長挨拶



御室全信協会長祝辞



目録贈呈

記念祝賀会

記念祝賀会開会前にオープニングイベントとして福岡県立八幡中央高校書道部による書道パフォーマンスが披露され、開会中には北九州市長からの祝辞、来賓による鏡開きのほか、当金庫五平太ばやし部によるアトラクションなど盛況のうちに終了いたしました。



福岡県立八幡中央高校書道部



祝賀会乾杯



創立100周年記念誌



ひびしん五平太ばやし部



万歳三唱



祝賀会全体

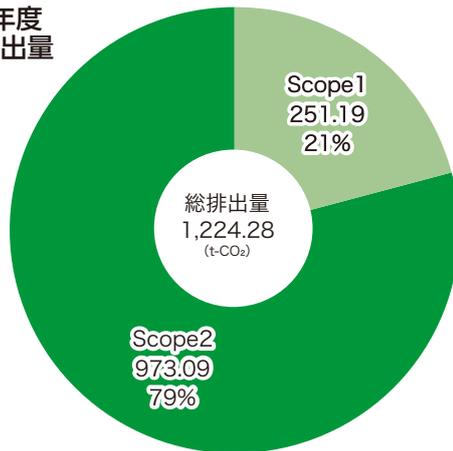
サステナビリティへの取組み

事業活動における環境負荷の低減

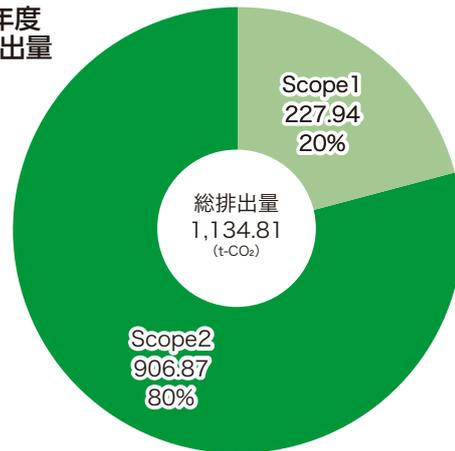
当金庫のCO₂排出量の開示

当金庫は2050年のカーボンニュートラル達成を目指し、e-dash株式会社^(注1)と連携し、CO₂排出量のデータ化に取り組んでいます。今後排出データをもとに、日常業務における省エネ活動はもちろん、店舗照明のLED化、空調設備の更新等の排出量削減施策を実行していき、排出量削減に向けた取組みを進めてまいります。

2022年度
CO₂排出量



2023年度
CO₂排出量



(t-CO₂)

	Scope1 ^(注2)	Scope2 ^(注3)	合計	目標
2022年度	251.19	973.09	1,224.28	2030年度までに2022年度比 ▲46% 2050年度までに実質ゼロ
2023年度	227.94	906.87	1,134.81	

注1) e-dash株式会社：三井物産株式会社の子会社。クラウドサービス「e-dash」を運営し、企業のCO₂排出量のデータ化を支援。

注2) Scope1：当金庫のエネルギー利用によって直接排出したCO₂(ガス・ガソリン)。

注3) Scope2：他社から供給された電気の使用に伴い間接的に排出したCO₂。

創エネの取組み

脱炭素、低炭素化実現に向け、店舗屋根に株式会社NTTスマイルエナジーの第三者保有方式（PPA）による太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーの活用を進めています。今後も設置店舗を増やしていくとともに、新設店舗はZEB^(注4)店舗化を検討するなど、環境に配慮した店舗づくりを行ってまいります。

築上町支店



中間支店



注4) ZEB：Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称。高効率な設備システムや再生可能エネルギーの導入により省エネ・創エネを実現し、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物。

環境配慮型車両、電動バイクの導入

営業車両の走行中の排出量削減を目的として、リース会社と連携して営業バイクの電動化を進めています。

今後は営業車も並行して、EV・HVへ入れ替えを行っていき、排出量の削減に努めてまいります。



電動バイク

中小企業の経営支援に関する取組み

① 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当金庫では地域に密着した金融機関としての強みを生かし、中小企業の実態を把握、企業の経営課題解決に対する主体的な取組みに対し積極的に支援を行います。また、平成28年9月に金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク」をこれらの取組みを客観的に評価する重要な指標と位置付け、その数値を開示し、地域のお客様にご理解いただけるように努めてまいります。支援に当たっては、必要に応じて外部専門家・外部支援機関等と連携し企業の実態に合った支援を適切に行うように取り組んでいます。

なお、以下の表で「金融仲介機能のベンチマーク」に該当するものは **ベンチマーク** と表示しております。

② 中小企業の経営支援に関する態勢整備・取組みの状況

全取引先数と地域の取引先数の推移、及び、地域企業数との比較(先数単体ベース) **ベンチマーク**

(単位:先)

	令和5年3月期				令和6年3月期			
	地元(福岡県)		地元外(福岡県外)		地元(福岡県)		地元外(福岡県外)	
	北九州市	北九州市以外	大分県・山口県	その他	北九州市	北九州市以外	大分県・山口県	その他
全取引先数	9,517				9,763			
地域別の取引先数の推移	9,425		92		9,677		86	
	6,350	3,075	36	56	6,510	3,167	37	49

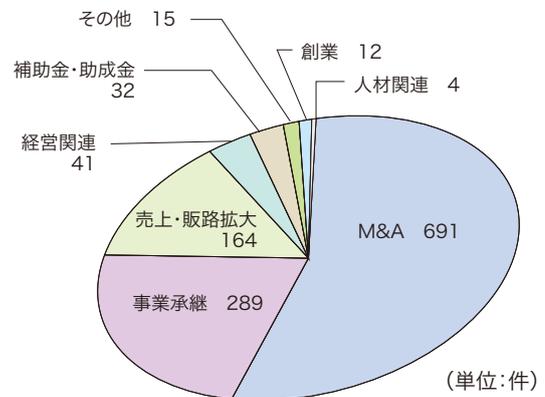
令和5年度 支援課題別集計

中小企業からの経営相談は営業店と本部が連携して行います。また、高度専門的な課題の場合は、福岡県よろず支援拠点・北九州市中小企業支援センター等との連携により課題解決のお手伝いを致しました。

支援課題	先数	
	件数	構成比
M & A	691	55.4%
事業承継	289	23.2%
売上・販路拡大	164	13.1%
経営関連	41	3.3%
補助金・助成金	32	2.6%
その他	15	1.2%
創業	12	1.0%
人材関連	4	0.3%
合計	1,248	100.0%

※M&Aには譲受・譲渡の両方相談を含む。

令和5年度経営相談 支援課題別 先数



創業・新規事業開拓の支援

当金庫が関与した創業件数 **ベンチマーク**

	令和5年3月期	令和6年3月期
創業関与件数	91件	110件

創業支援先数 **ベンチマーク**

	令和5年3月期	令和6年3月期
①創業計画の策定支援	9先	12先
②創業期の取引先への融資(保証協会)	82先	98先

■ ひびしん創業塾

当金庫では、地元の創業・起業を目指すやる気のある女性を応援するため、「ひびしん女性創業塾」をこれまで14年間継続して開催してきましたが、今回からは、男女関係なく受講いただけるように変更いたしました。本創業塾の特徴は、単なる学びの場で終わらないように、受講後のフォローにも注力しています。修了生と一緒に創業に向けて事業プランを考え、事業に必要な資金のお手伝いをするなど金融機関だからこそ可能な創業支援に取り組み、受講生の想いを創業という形に変えられるように努めています。



第15回目となる「ひびしん創業塾」（令和5年10月から12月の4日間コース）では、19名の方に受講いただき、最終的に5名の方が創業されました。尚、全15回の累計受講者は412名、創業者88名となっています。

● 創業塾受講生の創業状況 (令和6年3月31日現在)

(単位：名)

	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	13期	14期	15期	1~15期計
受講者(a)	42	35	39	28	30	36	32	25	30	28	21	18	18	11	19	412
受講時点で既に創業済み(b)	6	2	6	2	3	7	5	4	6	4	2	6	5	2	1	61
受講後創業(c)	10	8	9	6	6	7	6	3	9	2	10	4	1	2	5	88
創業率(c/(a-b)×100)	27.8%	24.2%	27.3%	23.1%	22.2%	24.1%	22.2%	14.3%	37.5%	8.3%	52.6%	33.3%	7.7%	22.2%	27.8%	25.1%

● 成長・成熟段階における支援

● 販路開拓支援を行った先数 **ベンチマーク**

		令和5年3月期	令和6年3月期
販路開拓支援を行った先数	地元	20件	8件
	地元外	7件	143件
	海外	2件	0件

■ 「しんきんコネクト」活用による販路拡大支援

信金中央金庫によるビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」を活用した販路拡大支援を行っています。

全国の信用金庫取引先や大手バイヤーとの通年マッチングを行うことができるほか、スポット企画での商談会も本サイトの仕組みを使用し行われています。



信用金庫業界のネットワークを活用した
ビジネスマッチングサイト

しんきんコネクト

shinkin connect
しんきんコネクト

充実したマッチング情報

日本全国
約 **8,000** 社
が利用！

ワンストップで利用可能

会員登録から商談申込まで
サイト内
で完結

無料で利用

¥0 FREE

登録料・利用料
メッセージ送信料
全て **無料**

オリジナル商談企画

本サイト独自の
高談企画
を定期的にご案内

ご利用方法

アクセス
以下のURLまたはQRコードからアクセスのうえ、ご利用ください。

<https://shinkin-connect.jp/>

※ご登録の際、紹介金庫欄には、お取引のある信用金庫をご選択ください。

ご利用の流れ

STEP 1

会員登録・
ニーズ情報登録

STEP 2

マッチング
候補先の検索

STEP 3

商談申込み

事務連絡先 福岡ひびき信用金庫 ソリューション営業部 ☎ 093-661-2414

第7回しんきん合同商談会

令和5年11月8日（水）マリンメッセ福岡において、九州北部3県（福岡県、佐賀県、長崎県）の13信用金庫の力を結集した「第7回しんきん合同商談会～中小企業による商売繁盛の祭典～」を開催いたしました。

出展企業・団体340社・団体、バイヤー企業23社の合計363社・団体が出展、当日は4,027名にご来場頂きました。商談総件数は2,313件（うち成約件数526件）となりました。



第7回しんきん合同商談会結果（令和5年11月13日現在）

	商談件数	商談成約件数・成約率・継続件数			
		成約件数（見込含）	成約率（%）	継続件数	
個別商談	2,116件	1,432件	503件	23.8%	929件
バイヤー商談	197件	174件	59件	29.9%	115件
合計	2,313件	1,606件	526件	24.3%	1,044件

※「商談実績報告書」及び「出展企業アンケート」（317企業から回答/回収率93.2%）を基に個別別に集計した合計値

事業承継・経営改善・事業再生・業種転換等の支援

事業承継・経営改善・事業再生・業種転換等の支援業務には中小企業基盤整備機構、福岡県信用保証協会、北九州産業学術推進機構等の外部支援機関との連携強化に努め、実効性の高い支援の実現を目指して取り組んでいます。

事業承継等の支援への取り組み **ベンチマーク**

	令和5年3月期	令和6年3月期
M & A 支援先数 (相談・情報件数含む)	599先	691先
事業承継支援先数 (相談・情報件数含む)	284先	289先

外部と連携した本業支援 **ベンチマーク**

	令和5年3月期	令和6年3月期
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	68先	66先
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	10先	5先

金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況 **ベンチマーク**

中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	条件変更総数	令和5年3月期		令和6年3月期	
		好調先	順調先	好調先	順調先
		21先	39先	28先	48先
	488先	428先	516先	440先	

③ 多様な顧客ニーズに応えるための取組み

当金庫では中期経営計画に掲げた人的資本経営の充実のため職員向けに様々な研修を実施しています。地域社会に愛され、地域に貢献出来る人材となるべく、日々研鑽に励んでいます。新入職員については配属前に、2カ月間の徹底した研修を受講します。

● 取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数 **ベンチマーク**

		令和5年3月期	令和6年3月期
取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数	研修実施回数	12回	7回
	参加者数	181名	147名
	資格取得者数	9名	7名

● 新入職員の金融スキル向上研修



● 職員のソリューション営業能力強化

当金庫は、課題解決型営業を実践していくために、総合的なコミュニケーションスキルの向上に向けた研修を行っています。



● 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「『経営者保証に関するガイドライン』への当金庫の取組み方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	令和4年3月期	令和5年3月期	令和6年3月期
新規に無保証で融資した件数	1,516件	1,600件	1,573件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	16.60%	22.51%	19.86%
保証契約を解除した件数	87件	92件	77件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)	0件	0件	4件